

1 小学校低学年用「大すきなぼくの町」 指導例

本資料は斑鳩町^{いかるが}を舞台として、法隆寺、竜田川などの歴史遺産や自然を取り上げ、それらと主人公の関わりを描いたものである。低学年児童を対象としており、歴史的建造物の文化的価値や自然保護の大切さを考えさせることよりも、それらとの思い出や関わりを大切にし、身近に感じ親しませることをねらいとしている。

展開前段では、主人公や母親の法隆寺や竜田川に対する思いについて考えさせ、それらをより身近に感じ大切に思うようになった主人公に共感させたい。また、展開後段では、郷土と自分たちとの関わりについて考えさせたい。その際、生活科の学習などで感じたり気付いたりしたことについても振り返り、意見交流をさせるなど、児童それぞれが郷土への愛着や親しみをより深められるようにしたい。

- ◆ **主題名** わたしたちのふるさと 指導内容 低4－(5)
- 資料名** 大すきなぼくの町 (奈良県郷土資料 県教育委員会)

◆ ねらい

身近な人々の郷土への思いを知り、郷土への愛着を深める主人公の心の動きを考えることを通して、郷土への愛着を深め、親しみをもって生活しようとする態度を養う。

◆ 展開

	学 習 活 動	主な発問と予想される児童の意識	指導上の留意点	備考
導 入	1、郷土に親しんだ経験を話し合う。	○ よく出かけたり遊んだりする身近なところがありますか。 ・近所の公園でよく遊ぶよ。 ・家族で〇〇にハイキングに行ったよ。	・体験を自由に出し合わせ、本時の学習内容にスムーズに入っていけるようにする。	
展 開	2、資料「大すきなぼくの町」を読んで話し合う。	○ シゲルはどうして法隆寺を紹介しようと思ったのでしょうか。 ・とても有名だから。 ・法隆寺は、多くの人がかつて大切に守ってきたところだから。 ・お母さんとの思い出の場所だから。 ○ お母さんの話を聞いたシゲルは、どんなことを思ったのでしょうか。	・郷土の歴史的建造物であるとともに、シゲルにとってお母さんとの思い出の場所であることを押さえ、シゲルの気持ちにより深く共感できるようにする。 ・シゲルと散歩したことがお母さんの大切な思い出であることや、それを聞	

展		<ul style="list-style-type: none"> ・お母さんも楽しかった思い出があるんだな。うれしいなあ。 ・ぼくもずっとお母さんと一緒に散歩がしたいな。 <p>◎ シゲルが、もつともつと法隆寺や竜田川のが好きになったような気がしたのはどうしてでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お母さんとの思い出の場所だから。 ・おじいさんたちも大切にしているところだから。 ・ずっとお母さんたちと楽しく過ごしていきたいところだから。 	<p>いたシゲルの喜びに着目させる。</p>	
開	3、自分を振り返る。	<p>○ 身近な町に、思い出の場所や大好きな場所はありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつもみんなと遊んでいる公園は、とっても好きな場所だよ。 ・これからもずっと家族と一緒に〇〇に行って、ハイキングをしたいな。 ・おじいさんたちが、公園の花の水やりをしているのを手伝ったよ。またやりたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・シゲルやお母さんの思い出や、もみじを守ろうとするおじいさんたちの思いを押さえ、シゲルの郷土に対する気持ちの深まりに共感できるようにする。 ・ワークシートに書き込むことでじっくりと考えさせ、それを基にして積極的に話し合えるようにする。 ・日常の生活や生活科での学習なども思い起こさせ、自分の郷土に対する様々な思い出や、大切にしようとしている人々がいることに思いを巡らせることができるようにする。 	ワークシート
終末	4、指導者の話を聞く。		<ul style="list-style-type: none"> ・指導者自身の郷土に対する思いや郷土を守るために力を尽くしている人々の話などにより、郷土への愛着を深め、親しもうとする心情を温める。 	

2 小学校低学年用「吉野地方のわりばし」 指導例

割りばしの発祥の地と言われる吉野地方では、建築材として使われた杉等の残材を有効利用して割りばしが製造されてきた。本資料は、低学年児童を対象に、丹精込めて育てた木材を無駄なく使うために工夫されてきた吉野地方の割りばし作りを取り上げ、物を大切にすることについて考えさせることをねらいとして作成している。

導入では、可能であれば実際に割りばしを見せ、資料への興味・関心を高めたい。展開前段では、おじいさんの話を聞いた主人公の気持ちの変化について話し合うことを通して、物を大切にすることを自分の生活とつなげて考えるようになった主人公に共感させたい。さらに、展開後段では児童自身の普段の生活を振り返らせ、身の回りの物の使い方について考えさせたい。

- ◆ **主題名** 物を大切に 指導内容 低1-(1)
- 資料名** 吉野地方のわりばし (奈良県郷土資料 県教育委員会)

◆ ねらい

杉を無駄なく使う吉野地方の割りばし作りのことを知り、身の回りの物の使い方を振り返る主人公に共感させ、物を大切にしようとする態度を養う。

◆ 展開

	学 習 活 動	主な発問と予想される児童の意識	指導上の留意点	備考
導 入	1、割りばしを見て話し合う。	○ これは何か知っていますか。 ・割りばしだ。 ・少し大きいな。	・実際に杉の割りばしを見せ、資料への興味・関心を喚起する。	割りばし
展 開	2、資料「吉野地方のわりばし」を読んで話し合う。	○ おじいさんの話を聞きながら、コウジはどんなことを思っていたでしょう。 ・木がもったいないから作られたなんてびっくりしたな。 ・昔の人はすごいな。 ○ どうしてコウジは、少しはずかしくなったのでしょうか。 ・まだ使えるのに、新しいノートをねだったことを思い出したから。 ・割りばし作りが木を大切にしているのにくらべて、自分は物	・挿絵などを見ながら吉野地方の割りばしがなぜ作られるようになったのかを押さえ、先人の知恵や工夫に気付いた主人公に共感できるようにする。 ・主人公と同じように思ったことがあるかを児童に問うなどして、児童が主人公の立場に立ってじっくりと考えられるようにする。	

展		<p>に使っていないと思ったから。</p> <p>◎ 普段自分が使っているいろいろな物のことを頭に浮かべながら、コウジはどんなことを考えたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆や消しゴムを最後まできちんと使おう。 ・ノートをもっと大切にしよう。 ・机や椅子もていねいに使うようにしたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭をはじめ学級における身の回りの物の使い方などについても広く考えられるようにする。 ・ワークシートに書き込むことを通して、じっくりと考えさせることもできる。 ・発問の前に、杉の割りばしの香りを実際に体感させ、そのよさを味わえるようにするとよい。 	ワークシート
開	3、自分を振り返る。	<p>○ 自分たちの持ち物について話し合ってみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆や消しゴムなどは、なくしてしまわないように最後まで大切に使いたい。 ・お母さんが、ランドセルは大切に使ったら6年間使えるって言ってたな。 ・これまで学級のボールを乱暴に使っていたな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・普段の生活を振り返って話し合わせ、身の回りの物の使い方を考え、物を大切にしようとする意欲を高められるようにする。 	
終末	4、指導者の話を聞く。		<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活で見られる児童の姿や指導者自身の体験談を話すなど、今後の実践意欲や態度につながるよう余韻を残して学習を終えるようにする。 	